

全日本民主医療機関連合会 歯科部

発行日： 2025 年 5 月 20 日 発行人：岩下明夫

全国のみなさん！こんにちは！

関東地協では、3月9日（日）に「謎解き歯周病治療」と題して、学習会を開催しました。リモート研修会だったことあり、参加者97名と大勢の職員が参加しました。症例を通じて、謎解き形式で歯周病を紐解いていき、歯周病治療に必要な歯肉を読む力や生活背景に潜む原因を究明するための医療面接の重要性など、日々の診療の振り返りになりました。

歯周病の原因は、2000年代は「Red Complex」が注目されていましたが、2010年以降は「宿主である生体と歯周病菌との共生関係の破綻」へと短い間に考え方が移行してきました。目まぐるしい歯周病の変遷に対応した治療や、患者要求にに応じていく力が求められています。

講師の塩浦さんは、現在の医療情勢に合わせて、日常診療に歯科衛生士過程（ケアプロセス）を取り入れ活かしていました。私たち民医連でも歯科衛生士過程は「歯科衛生士の基本となるもの」の基礎として取り入れています。今回の講演で「歯科衛生士の基本となるもの」を日常診療で活かすことができることが、時代や患者要求に応えることに繋がると確信をもてたのではないかと思います。

<感想>

①日々の診療でマンネリ化してしまっている歯周病治療に対して、問診の聞き取りをしっかりと行ない、患者さんそれぞれに合ったP処置を行う大切さを再認識する事ができた、②歯科衛生過程を習ってこなかった時代の衛生士なので充実したお話が聴けて良かった、③アセスメントの重要性を再認識した。 など。。

「歯科衛生士の基本となるもの」の学習が広がっています

関東地協では、今年の目標として「本の内容を学習し、たくさんの方に本の存在を知ってもらうこと」と位置づけました。今年の計画は、①全日本から出されている「活用にむけて」のパワーポイントを各事業所の役職者が職員へプレゼンを行う、②アセスメントシートの活用方法について、相曽訓子（東京：相互歯科）さんに学習講演を行ってもらうことになっています。

「活用にむけて」では、パワーポイントを各事業所の役職者がプレゼンを行えるように解説文を作成し、分かりやすく工夫をしました。また、プレゼンを行うときは聞き手が理解しやすいように、それぞれの事業所の歴史にも触れながら行うようにしました。

学習講演は、6月1日（日）に実際の活用方法や症例の当てはめをグループワーク形式で行う予定です。

歯科衛生士がしっかりと学習し、理解と活用ができるようにすすめていきます。

ニュース担当 関東地協 相互歯科 相曽訓子



講師：塩浦有紀さん（歯科衛生士）

（略歴）

中野区 熊谷歯科医院 勤務

歯周病学会認定歯科衛生士

臨床歯周病学会指導歯科衛生士

